

2022年 NO
7月27日号 5号

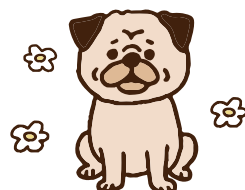
じんけんにゃんだふる



じんけんを「他人ごと」から「自分ごと」へ

OYAOYA 通信

学びのホームグラウンド じんけん楽習



じんけんわんだふる

7月27日のじんけん楽習塾は『今、この時代にあらためて考える—あなたは民主主義を信じますか?』がテーマです。講師は長橋淳美さん（一般社団法人 富田林市人権協会）です。今回は会場に講師の方がお越しくださいます。Zoom 視聴での参加も可能ですので、ご自身にあった参加方法で申し込みください。

オンライン参加のみなさんへ

- 研修参加の際は、必ず映像はオンの状態で願います。(休憩中はオフでも大丈夫です。)
- グループワークもあります。
- 申し込みの時の名前で参加ください。
- 研修参加の際は、こちらが指示するまでマイクはミュートでの参加をお願いします。
- ZOOMに入室できない等でお困りの時は 八尾市人権協会 072-924-9853 にお電話ください。
- ZOOMに入室できた後はなるべく、ホスト(事務局)あてチャット機能をお使いください。



みんなのふりかえり 5回目7/13

マジョリティ特権って何？ 出口真紀子さん（上智大学）



●「マジョリティの特権に気づき~すべきだ」と、なるのではなく、マイノリティがゆえにしんどい思いをしている、身近な、なかに気づき、それっておかしいやん、そんな社会はいっしょにかえていこうと、思える人とのつながりが大切だなあと感じました。

今、しんどさをかかえて、それを、自分のせいとか、がんばっていないからとか、運が悪いとか思ってしまう子どもたちに、「あなたのせいじゃない」と、今すぐ伝えたくくなりました。たくさん考えた回でした。ありがとうございました。

●ぼんみさんが最後に言ったことですが…

私も10年前(?)に大学の「多文化共生」の担当の仕事もらったとき、最初、「日本人の私ではなく、外国人マイノリティが担当すべきでは？」と思いました。(もちろん「職」という意味では、その方がいいかもですが)でも、担当しはじめてわかったのは、「〇〇差別」について「〇〇」の当事者が教壇に立つことのしんどさでした。差別的な意見も出てくるし、理解してくれないし(逆差別とか言い出すし)、そんな矢面に立つことになるんだな、と、やって初めて実感し、こんなところにマイノリティを1人で立たすのはよくないと思ったし、それをしている人たちを尊敬しました。…ということ思い出しました。

マジョリティについてはマジョリティが教えればよいと思います。(Tomoko)

●“特権”について無自覚でいることは無いかと自分を振り返った時間になりました。

資料を見直しながら、ゆっくり、お話しを、自分の中におとしておきたいと思います。

●マジョリティ特権って何?と真にこのタイトルを見て思った特権があることすら気付いてなかったと思いました。

白人社会は差別があからさまで~なんて思っていましたが出先先生の「日本社会におきかえて」と言われた時ハッとしました。まさに自分が特権側の人間なのだ、権権置きかえ週間やってみたいと思います。

●教室中から一斉に紙をゴミ箱に投げ入れる例えが分かりやすく、面白かったです。(学生も楽しそうでしたね!)

マジョリティ側はなかなかマイノリティの生きづらさに気

づかないものなのだと全編を通して学びました。今後は、もっと広い視野を持ちたいなど思いました。



(もち様※の画像癒されました。私ももち様の動画大好きです!) ※事務局注 Youtubeで人気の猫

●差別はする側の問題。当事者がいくら声をあげてもなくなるのは、マジョリティ側が自分の特権に気づけてないからだとして強く感じました。今の子どもたちが特権に気づける人になるために、マジョリティ側の問題をどう伝えればいいんだろう?

●マジョリティ側が力を使って声をあげる、行動するという事にハッとしました。

わかっているようでわかっていなかった、と思いました。まだちゃんと自分の特権を考えきいていないのでまずはそこを深く認知して行動につなげていこうと思います。(めぐりん)

●外国の有名な「特権について考える」動画(「〇〇を持っている人は一歩前を出なさい」と1つずつ質問していき、全ての質問がおわったらうしろをふりかえらせるもの)がありますが、あれも今回のお話でよく出てきた「特権の可視化」にかかわるものだったのだと気づきました。平等と現在地の間にどれくらいの距離があるのかは、自覚しようとする機会がなければ気づきにくいものだと思います。また「変わらなければならぬのは誰ですか?」が印象に残りました。

●3つの差別の形態の中で、制度的差別があつてなかに法律・教育・政治・メディアなどがかいてあつた。今回の選挙にしても大きく差をあけて一党が勝つということは投票率が100%ではないのに民意として後押しされてしまっている。又、野党の言うことは聞かない発言のある中でこれを差別ととらえる人は少なくして仕方ないあきらめ感しかないのかなとなかなか前向きになれない気持ちがあつりました。

●「マイノリティが生きやすい社会はマジョリティも生きやすい」のか!?ともやもやしたことを、いっしょに考えてもらえたことから、当事者の声を大切にしたいと思いつつ、他人事にしがちで行動できていないこと、自

分の特権について、考え続けること、変わっていきける気がしました。ありがとうございました。

●「マイノリティが生きやすい社会はマジョリティも生きやすい」という発言に共感して聞いていました。

でも、質問にあつた電車のイス7人がけに4人で座るとい話を聞いたときに、あそこは現実的に気がついてない自分になにかはりました。

自分のマジョリティ特権を考えさせられました。マイノリティかマジョリティと属性の表のように簡単に分けられるものでもなく、人それぞれの価値観や感じ方があるように思いました。

●私は、日本人男性で、目が見えて、耳が聞こえて、自力で移動でき、非識字であるなど、多くの特権を持っています。同時に、障害を持ち、性自認も曖昧で、低学歴、低所得など、マイノリティ性もたくさん合わせ持っています。

目と耳の両方が不自由な盲ろう者の通訳・介助や識字・日本語教室での部落や外国人学習者への支援など、マイノリティ当事者と関わることが多く、いつも利用者を最優先するあまり、同僚や支援者同士での意思疎通が足りず、せつかくアライになってくれそうな人にまで誤解を与えてしまい、自分の有利な立場を生かしていません。また、当事者の側に立とうとしていくことが個人的な保身のためになってしまっているのではないかと、反省させられている最中です。被差別体験はなく、今の居心地の悪さが被差別者の思いに近づくことができればよいけれど、マジョリティに対しては無力感を感じています。(立石)

★OYAOYA 川柳★

気づかずに 特権振るって 傷つける (美知子)

気づいても 特権振るって 知らん顔 (美知子)

特権に 気づいた上で 話し合う (美知子)



連絡

毎回ふりかえり用紙をくばります。オンラインの場合はファイルを送ります。後でメールファックスでもいいので送ってください。お願いします。通信に反映させたいと思います。(公開だめなものにはオープンにしません)

写真を撮影しますが、OYAOYA通信、八尾市人権協会のホームページなどで使用する場合があります。なるべく個人が特定しにくいものをごと考えていますが、困るとい方は事務局に申しつけください。